

第 22 回たつの市子ども・子育て会議

会議録（概要）

日	時	令和 5 年 2 月 22（水）	10：00～11：30
場	所	たつの市役所 新館 災害対策本部兼大会議室	

審議経過

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

(1) 第 2 期たつの市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて

事務局、担当課より説明 資料 1、資料 1－2

会 長：教育・保育の量を確保するにあたり、職員の配置の仕方や人数はどのようなか？

担当課：1号・2号認定は就園率が99%程度あり、3号認定は共働き家庭の増加により就園率が上がっているため、受け皿を確保していきたい。職員は定員に対する職員配置基準により配置しているが、受け皿を確保する上では人員も確保していく必要がある。現在、待機児童はないが、3号認定のニーズが高まっており、さらに人員を確保する必要がある。

会 長：職員の負担や保育サービスの質に関わるので、引き続き人員確保の取組みをお願いしたい。特に、1歳6か月健診前後の児への配慮を手厚くすることで、その後の育ちに大きく変化があるので、職員をスポットも含め定数より多く配置し手厚くすることも大事である。それが、保護者の子育てのし易さや安心感にもつながると思う。1歳6か月前後は学術的、医学的に重要な時期とされているため、是非とも手厚いサポートをお願いしたい。

委 員：人員確保については、公私立園と一緒に保育士確保事業を5年前から実施し、学生への施設見学や合同説明会、広報活動などに取り組んでおり、実績が少しだけ出ている。一時預かり事業については、新たに開始した園で200人程度の利用実績が出ており、週3回程度の利用や急遽明後日利用したいという方など幅広い利用がある。定期的な利用者からは、家庭とは違った児の姿が見ることができ、成長も伺えるという意見がある。また、園にとっては、未就園の家庭とつながるきっかけになっている。教育・保育の量については、児童減少の現状を踏まえ、保育協会と市が協議し、今後の保育事業の量の確保方策を検討している。

委 員：多用な主体が本制度に参入することを促進するための事業について、こども園等の特別支援において職員の加配をすることは大事で、児により配慮の仕方が異なり、職員の負担もあると思うが、職員に対する研修や対応の仕方への考え方はどのようなか？

委 員：市が様々な研修を用意し、公私立園の職員が参加して知識を身に付けている。学校教育課の専門職員が園を巡回し、児の様子を見たり、園職員への指導や相談をしている。私立園では、西はりま特別支援学校に協力を依頼し、リモートで対応の仕方の相談や研修を行っており、職員同士が情報を共有し、職員の対応への自信や不安解消につながっている。

委 員：学校教育課の専門職員による巡回指導・相談に加え、保健師と連携し1歳6か月健診の様子等を確認しながら対応している。公立園では、心理士や児童発達支援施設の職員と研修を行い、児への関わり方や家庭との連携の仕方の指導を受けている。また、担当職員だけの負担になら

ないように職員会議を行い、職員同士が共通理解するようにしている。

委員：公私立園ともに、配慮が必要な児に職員同士が連携し丁寧に対応されていると思う。他市でも、研修の場は増えているが、不安を抱える職員に寄り添うことが十分ではない。他市の事例だが、ケース会議を行って情報共有し、具体的な対応を考えることも、職員の不安を取り除く要因になるので、職員への支援方法も広がっていけばよいと思う。

担当課：様々な発達のケースがあるので、園内の委員会で協議し、児ごとに個別指導計画を作成しており、公私立園ともに計画様式を統一している。計画は園から小学校、小学校から中学校へ系統立ててつなぎ、就職するまで結びつくようにしている。また、保護者同意のもと、児ごとの個別支援計画を作成し、小中学校につなぎ、就職するまで結びつくようにしている。小学校就学に向けては、学校に定期的に状況を伝えるとともに、学校の先生が園に児の様子を見に来るようにし連携を取っている。3歳未満の児については保健師、3歳児以上の児については学校教育課や専門機関と連携し、具体的な支援方法を確認したり、健康課の5歳児発達相談として、園を巡回し、クラスの中での具体的な支援方法を話し合うことで、職員の負担を解消している。保護者への支援としては、園が主体で保護者からの相談を受け、専門機関につないでいる。

委員：乳児家庭全戸訪問事業について、保護者の生の声を聴くことは大事なことだと思うが、コロナ禍の訪問しにくい状況では、テレビ電話など訪問とは違う方法をとったのか？訪問する費用や時間を考えると、訪問の仕方を考えてはどうか？

担当課：母子健康推進委員が電話で日程調整し訪問しているが、緊急事態宣言中は訪問せず電話で様子を聴き、手渡しする書類は自宅のポストに投函する方法をとった。現在も、対面での面談が不安な方には、同様の方法をとっている。テレビ電話については、今後検討していきたい。

会長：相談したくない方や相談することをためらう方もあるので、支援が必要な家庭の情報を他の機関と共有し、独りではないと支援することも大事である。ひとり親で苦労しストレスを抱えていたり、虐待、ネグレクト、ヤングケアラーといった家庭で育つ子がいることを踏まえ、保護者への継続的な支援を行ってほしい。

委員：妊婦健康診査事業について、助成券の利用率はどうか？

担当課：妊婦健診の費用は保険適用外のため、全員の方が利用されている。助成券があることで、定期的に健診を受け、安心して出産を迎えることができる。

## (2) 第2期たつの市子ども・子育て支援事業計画の施策取組状況について

事務局より説明 資料2

委員：ファミリーサポートセンター事業については、令和3年度は利用者が752件、会員数が641人であるが、ともに若干減少してきている。利用したいというニーズがあっても、当事業を知らない方もあると思うので、広報等でさらに周知していく必要がある。また、協力会員へのサポートも十分行う必要がある。児童館事業については、保護者団体である母親クラブが事業を支援され、クラブ活動には多くの児が参加している。昨年は、中学生や高校生の利用を促進するため、夏休み中の学習スペース開放を行い、延べ63人の利用があった。今後も、学習の場や子どもたちがふれあう機会を増やしたい。

会長：自殺予防という点で、全国において自殺者数は減少してきているが、小中高生における自殺は500人を超え過去最悪であった。また、39歳までの最も多い死因は自殺であり、G7先進

国では日本のみがこの状況であることから、子育て世代は苦しい状況にあると言えると思う。このように子どもたちが保護者の生きづらさを目の当たりにし、将来への不安を感じていることを踏まえ、保護者に対し積極的に独りではないと声をかけ、大人たちが温かい信頼関係を築く社会をつくることで社会的な絆が生まれ、時間はかかるが子どもたちへの安全・安心につながる。その点で、たくさんの良い事業があるので、しんどいときに家庭を支援してくれることや、児童館に行けば楽しいとかこんな人と出会えるということをSNS等で積極的に発信し広めることは大事である。

委員：園でのいじめ、園職員による虐待や児のバス置き去りのニュースを見かけるが、職員の教育や対策はどうしているか？

担当課：園職員による虐待については、公私立園ともに職員の役職ごとに研修を随時行っている。また、各職員は場面ごとの関わり方のチェックリストにより、人権的に不適切な保育をしていないか確認を行い、それをもとに園内で話し合っ改善等を行い、適切な保育を行う取組をしている。バス置き去りについては、令和5年度予算で、バス送迎を行っている園に対し、国基準に沿った置き去りを防ぐ装置の整備を早期に行う。また、導入済みの園もあるが、児の登園状況を管理するシステムの導入を進め、保護者がスマートフォンアプリで簡単に欠席の連絡ができたり、職員が児の出欠状況を共有できるようにする。

委員：いじめについては、児が成長する中で他者との違いを認識し生じるので、3～5歳児の職員で一日の振り返りを行ったり、児同士が自分の意見を発言して話し合う会議を行い、児の主体性を大事にしながら友だちと違った意見があることや多様性を理解する機会を増やしており、いじめの抑制につながっていると思われる。

会長：いじめる側もストレスが溜まり、当事者を取り巻く風土がいじめを抑制するため、正しいことを主張できる風土で集団を作ることが大事と言われている。児は集団の中で他者との違いを受け止める過程では葛藤もあるが、大人が解決せずに見守り、本人たちが本音を抱えながら違いを生で体験することをサポートすることが大事である。思いやりや他者を大事にすることを先に教えると、自分の主張を抑えることが人間関係がうまくいく秘訣と学習してしまい、自分の本音が分からなくなったり、嫌ということを表現できなくなることがエスカレートするといった現状があるので、周囲が支えていく必要がある。

副会長：社会が大きく変化していく中で、児や保護者、職員はともに変化に対応しなければならない大変な状況にある。これまでの5年間は待機児童といった量の調整を進めてきたが、今後は少子化が進み児童がいない状況で量より質を高める必要がある。将来、児が大人になって地域を支えていく上で、今の大人がどのように児を支えるべきかといった有意義な意見を聴くことができた。東広島市の事例だが、子ども・子育て会議が主体で部会を設け、大学や専門の講師、行政、保護者が一堂に会して、子どもをこんな風に育てたいこうと人的・物的環境を考える勉強会をすることで、横のつながりができると感じたので、参考にしてほしい。

4 その他

5 閉会